

平成25年度2月補正予算の概要について

平成26年3月4日

(単位：千円)

一 予算規模

1 一般会計

補正額 9,849,752

補正後の規模 627,787,244

前年度2月補正後予算との対比 $\Delta 19,454,891$
(3.0%減)

《補正予算の財源》

特定財源 $\Delta 2,182,312$

国庫支出金 1,650,979

繰入金 1,757,743

諸収入 $\Delta 3,818,956$

県債 $\Delta 1,819,100$

その他 47,022

一般財源	12,032,064
県 税	2,749,652
地方譲与税	3,041,801
地方交付税	139,700
国庫支出金	183,179
財産収入	784,026
繰入金	△1,572,774
繰越金	5,584,449
県 債	657,600
その他	464,431

2 特別会計

証紙特別会計	178,297
母子寡婦福祉資金特別会計	△7,964
就農支援資金貸付事業等特別会計	10,270
中小企業設備導入助成資金特別会計	△60,000
土地取得事業特別会計	3
工業団地開発事業特別会計	4,180
市町村振興資金特別会計	△210,840
能代港エネルギー基地建設用地整備事業特別会計	△900
下水道事業特別会計	△402,198
港湾整備事業特別会計	△3,069

地域総合整備資金特別会計	△323,140
秋田港飯島地区工業用地整備事業特別会計	△2
環境保全センター事業特別会計	16,395
公債費管理特別会計	△1,698,000
県立病院機構施設整備等貸付金特別会計	△3,169

3 企業会計

電気事業会計	△270,901
工業用水道事業会計	△44,630

二 補正予算の主な内容

今回の補正予算は、国の基金を活用した事業のほか、あきた未来づくり交付金事業や基金の造成及び決算見込みに伴う事業費の増減などについて計上した。

I 国の基金を活用した事業

- 林業研究研修センター実習棟建築事業** 27,665
森林技術に関する研究の推進及び林業技術者の養成等を目的として新たに設置する同センターにおいて、養成研修等に必要の実習棟を整備する。
 - ・事業年度 平成25～26年度
 - ・開設予定 平成27年度
 - ・構造・規模 木造1階建て(132.42m²)
 - ・施設用途 林業技術者養成研修(機械類の分解組立、製材・加工品構造研修)
県民向け講習会(森林ボランティア講習、クラフト教室等)

- 秋田県立大学施設設備等整備事業** 162,144
県立大学の教育・研究及び地域連携機能を拡充するため、管理棟の増築経費に対し助成する。
 - ・事業年度 平成25～26年度
 - ・構造・規模 木造2階建て(485.61m²)
 - ・施設用途 地域連携・研究推進センター、企業面接・技術相談室、教育改革センター等

- 木造公共施設等整備事業** 516,965
地域内の交流の場となる建築物の木造化に対し助成する。
 - ・補助先 市町村 4施設
民間事業者 1施設
 - ・補助率 県1/2

- 市街地木質化実証モデル事業** 29,000
地域材の新規用途拡大を図るため、木材需要の低い中心市街地において、木質パネルなどを活用したモデル展示等を行う経費に対し助成する。
 - ・事業内容 市街地の木質化に向けた調査、公共施設での木質化実証等
 - ・補助先 秋田公立美術大学
 - ・補助率 県10/10

- 路網整備事業 570,125
生産ロット拡大や原木安定供給等を図るため、高品質なスギ人工林が集中した団地を対象に、林業専用道を開設する。

II 県単独事業

- あきた未来づくり交付金事業 200,000
県市町村未来づくり協働プログラムに基づき実施されるプロジェクトの事業展開を支援するため、「あきた未来づくり交付金」を交付する。

⑧八郎潟町分

- ・交付対象 駅前にぎわい・ふれあい・元気プロジェクト
- ・事業内容 読書活動推進による教養の向上、子育て支援環境の充実
交流広場を活用したにぎわいの創出
- ・交付金額 2億円（平成25年度）

- ⑧灯油購入費緊急助成事業 199,878
低所得世帯等の負担軽減を図るため、灯油購入費助成事業を行う市町村に対し助成する。

- ・補助先 市町村
- ・補助対象事業 市町村が実施する、市町村民税非課税世帯の高齢者世帯、障害者世帯、ひとり親世帯、生活保護世帯等に対して灯油購入費を助成する事業
- ・補助率 県1/2（1世帯当たり上限額2,500円）

- 制度融資事業 △2,673,238
金融機関に対する預託金等の実績見込みにより減額する。

<債務負担行為>

- 県単港湾整備事業 (150,000)
船舶の航行の安全を確保するため、秋田港湾内の掘削、土砂撤去等を行う。
- ・箇所 秋田港向浜地区
 - ・事業内容 掘削、土砂撤去、深淺測量（海図補正）
 - ・期間 平成26年4月～9月（6ヶ月間）

Ⅲ 基金造成

(1) 国の補正予算による基金造成（運用益を除く）

基金名称		基金の概要	事業費	事業期間
地域自殺対策緊急強化臨時対策基金 (積み増し)		自殺対策の強化を目的とした事業を行う。	40,056	H21～H26年度
消費生活相談臨時対策基金 (積み増し)		消費生活相談体制の充実を図る。	18,634	H20～H26年度
農地中間管理事業等推進基金 (新規)		農業経営の規模拡大や農地の集団化等に 必要な農地の流動化を促進する。	1,018,502	H26年度～
森林整備及び木材産業振興臨時対策基金 (積み増し)		森林整備及び木材産業振興のための事業 を行う。	1,912,000	H21～H26年度
森林整備地域活動支援基金 (積み増し)		森林の適正な整備を推進するための地域 活動に対し支援を行う。	34,900	H14～H28年度
緊急雇用創出等臨時 対策基金(積み増し)	雇用創出事業分	緊急かつ臨時的な雇用その他の就業の 機会の創出を図るための事業等を行 う。	945,000	H20～H27年度
	就労支援事業分	離職者の住宅確保や就労支援等を行 う。	219,691	H20～H26年度
子育て支援等臨時対策基金 (積み増し)		子どもを安心して生み、育てることが できる環境の整備に資する事業を行 う。	91,994	H20～H26年度
計			4,280,777	

(2) 県単独基金造成

○農林漁業振興臨時対策基金積立金 1,360,110
農林漁業経営の安定及び基盤強化のための事業に活用する基金の積み増し
を行う。

○財政調整基金積立金 3,606,575
平成24年度決算剰余金の1/2等を基金に積み立てる。

【参考】平成25年度末財政2基金残高見込み

財政調整基金	16,370百万円
減債基金	22,484百万円
計	38,854百万円

○地域活性化対策基金積立金 6,762,439
事業の実績見込み等により生じた額を基金に積み立てる。
(地域の元気臨時交付金分(7,773,251千円)を除く)

IV そ の 他

○人件費

△ 9 0 3 , 6 3 2

給与費の決算見込みにより人件費を補正する。

- ・ 知事部局等 △763,861 千円
- ・ 警 察 本 部 △252,784 千円
- ・ 教育委員会 113,013 千円

○国基金返還金（国要請分）

1,049,459

平成23年度第3次補正予算（復興関連予算）に伴い積み増しした基金について、復興関連予算の使途厳格化に伴い、所要額を国へ返還する。

- ・ 地域自殺対策緊急強化臨時対策基金返還金 12,499 千円
- ・ 森林整備及び木材産業振興臨時対策基金返還金 1,036,960 千円